令和６年度　動物実験に関する自己点検・評価報告書

つくば国際大学

令和７年３月

Ⅰ．規程及び体制等の整備状況

１．機関内規程

１）評価結果 □　基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ■　機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 □　機関内規程が定められていない。
２）自己点検の対象とした資料 ・ つくば国際大学動物実験規程 ・ 動物実験に関する細則
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 本学の動物実験規程および動物実験に関する細則では、公私立大学実験動物施設協議会(公私動協)のホームページで公開している動物実験委員会規程の雛型で示されている内容(大学長の責務の明記など)の記載が不充分である。
４）改善の方針、達成予定時期 ・ 公私動協のホームページで公開している動物実験委員会規程の雛型に合わせて、今年度、或いは来年度中に改善する。

２．動物実験委員会

１）評価結果 ■　基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 □　動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験委員会は置かれていない。
２）自己点検の対象とした資料 ・ つくば国際大学動物実験規程 ・ 動物実験委員会委員名簿
３）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
４）改善の方針、達成予定時期

３．動物実験の実施体制

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 □　動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □　動物実験の実施体制が定められていない。

2）自己点検の対象とした資料 ・ つくば国際大学動物実験規程 ・ 動物実験計画書 ・ 動物実験(経過・終了・中止)報告書
3）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
4）改善の方針、達成予定時期

4．安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1）評価結果 □ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 □ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ■ 該当する動物実験は、行われていない。
2）自己点検の対象とした資料 ・ 該当せず。
3）評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） ・ 該当せず。
4）改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

5．実験動物の飼養保管の体制

1）評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 ・ つくば国際大学動物実験規程
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
4）改善の方針、達成予定時期

6．その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

Ⅱ．実施状況

１．動物実験委員会

１）評価結果 □　基本指針に適合し、適正に機能している。 ■　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・ つくば国際大学動物実験規程 ・ 動物実験委員会議事録
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 動物実験計画書の審査、教育訓練、自己点検･評価が行われており、委員会の役割を果たしている。しかし、基本指針や飼養保管基準への委員の共通認識が不足している。
４）改善の方針、達成予定時期 ・ 公私立大学実験動物施設協議会を通して、動物実験方法や実験動物の飼養保管に関する最新情報を入手し、委員の間で共有する。

２．動物実験の実施状況

１）評価結果 ■　基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
２）自己点検の対象とした資料 ・ つくば国際大学動物実験規程 ・ 動物実験委員会議事録
３）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 動物実験計画の立案、審査、承認、報告、中止、終了等は基本指針に則して実施されている。
４）改善の方針、達成予定時期

3．安全管理を要する動物実験の実施状況

1）評価結果 □　基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。 ■　該当する動物実験は、行われていない。
2）自己点検の対象とした資料 ・ 該当せず。
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 該当せず。
4）改善の方針、達成予定時期 ・ 該当せず。

4．実験動物の飼養保管状況

1）評価結果 ■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 ・ つくば国際大学動物実験規程
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
4）改善の方針、達成予定時期

5．施設等の維持管理の状況

1）評価結果 ■　基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 □　概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □　多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 ・ つくば国際大学動物実験規程
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
4）改善の方針、達成予定時期

6．教育訓練の実施状況

1）評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 ・ つくば国際大学動物実験規程 ・ 動物実験委員議事録 ・ 教育訓練実施記録 ・ 動物実験に関する説明会等の参加報告書 ・ 公私動協実験動物管理者講習修了証
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 動物実験委員会委員長は、関係省庁主催の説明会等に参加し、関連情報の収集を行っている。 ・ 動物実験委員会委員長は、公私動協が主催する実験動物管理者の教育訓練を受講し、修了している(令和 3 年 7 月 12 日受講)。 ・ 承認済の動物実験計画の実施者は、全員が本学、或いは他機関で動物実験に関する教育訓練を受けている。学内での教育訓練の講師は動物実験委員会委員長が務めている。
4）改善の方針、達成予定時期

7．自己点検・評価、情報公開

1）評価結果 □ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ■ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2）自己点検の対象とした資料 ・ 動物実験に関する自己点検・評価報告書 ・ つくば国際大学ホームページ･情報公開･動物実験規程および動物実験に関する自己点検･評価報告
3）評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・ 本学インターネットホームページでは、動物実験に関する情報公開が適切になされている。 ・ 平成 29 年 11 月に実施した公私動協による外部検証を受け、検証結果を本学ホームページ上に掲載している。しかし、外部検証の実施から 7 年以上が経過しているため、再度、外部検証を受ける必要がある。
4）改善の方針、達成予定時期 ・ 令和 7 年度、或いは令和 8 年度で外部検証を受けることを検討している。

８．その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）